THE SUISHI-NEWS

月刊 水試ニュース

発行所：愛知県水産試験場（本場）

574 号

令和 6(2024)年 5 月

ハマグリが好きなのはどんな場所？

漁業生産研究所　栽培漁業グループ

当グループではハマグリの種苗生産技術の開発（水試ニュース 568 号）を進めるとともに、種苗放流の適地を検討するための分布調査や生息環境に関する調査を行ってきました。その結果、ハマグリの分布域やその特徴が分かってきました。

矢作川・矢作古川の調査では、ハマグリは河口の上流約 400～1,500m、河口の外側では前面の約 500m 以内など、河川水の影響を受けやすい場所に多く分布している（図１）ことや、着底稚貝から成貝まで幅広い大きさのハマグリが同じ場所に分布していることが明らかになりました。

また、ハマグリの分布密度が高い場所の底質の特徴を検討した結果、泥分が少なく、砂の粒径がそろった（淘汰度が低い）場所がハマグリの生息に適していることが分かりました（図２）。

調査で得られたこれらの知見を種苗放流の適地検討に生かし、ハマグリの栽培漁業を推進していきたいと考えています。

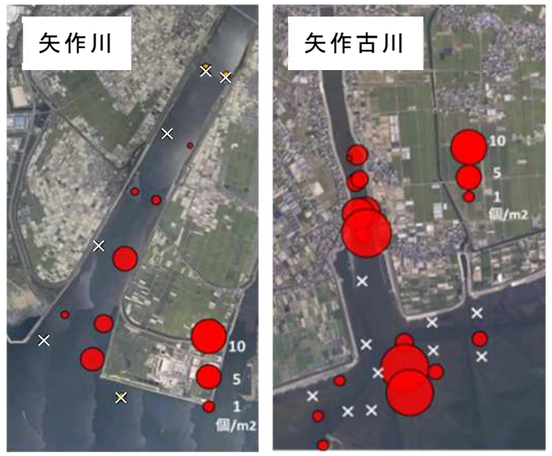

図１　矢作川と矢作古川におけるハマグリの分布密度（×印はハマグリが確認できなかった調査点）

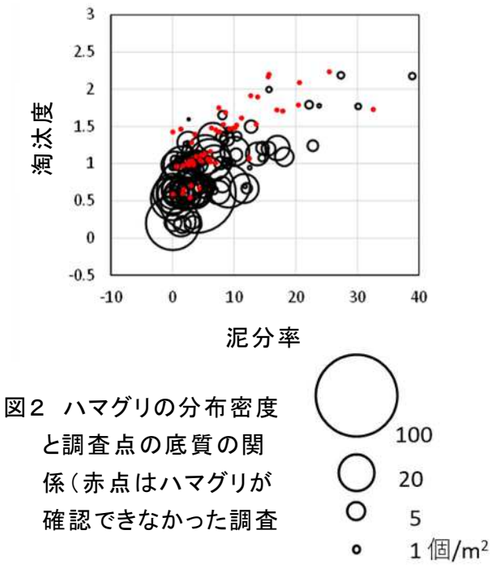

図２　ハマグリの分布密度と調査点の底質の関係（赤点はハマグリが確認できなかった調査

大豆イソフラボンを使った雌ウナギの成熟特性

内水面漁業研究所　内水面養殖グループ

ウナギの人工種苗生産において、従来法で作出した雌ウナギと同様に、大豆イソフラボンを使った雌ウナギ（以下、イソフラ雌）からも正常なふ化仔魚が得られることがわかり、雌親魚を容易に確保できるようになりました（水試ニュース 570 号）。

当グループでは、このイソフラ雌の特性を調査するため、海水環境での成熟の進み具合について試験しました。淡水で飼育していた親魚サイズの供試魚 20 尾（平均全長 69cm、平均体重 523ｇ）を令和５年 10 月４日から 118 日間海水で飼育し、海水飼育開始時と終了時に成熟ステージを調べました。なお、ウナギは成熟が進むと腹部の色が黄白色から黒色へと変化することから、黒色化に変化する状態を Y1→Y2→S1→S2 の 4 段階で表します。

その結果、飼育開始時は成熟ステージ Y2 が 5%、S1 が 95%でしたが、飼育終了時には S1 が 15%、S2 が 85%と成熟が進んでいることがわかりました（表）。

このことにより、イソフラ雌も天然ウナギと同様に海水環境へ移行すれば、成熟するということがわかりました。

今後もイソフラ雌の特性を把握する調査を進めていきます。

表　イソフラ雌の海水飼育による成熟の変化

成熟ステージ	海水飼育開始時 尾数割合（%）		海水飼育終了時 尾数割合（%）
Y1	0	→	0
Y2	5	→	0
S1	95	→	15
S2	0	→	85

愛知の水産研究活動報告会のご案内

本場　企画普及グループ

本県水産業の振興に寄与することを目的として、毎年、愛知の水産研究活動報告会を開催しています。本報告会では、漁業協同組合の青年部・研究グループ及び漁業士などの漁業者が参集し、日ごろの研究活動や成果を発表します。この報告会を通し、相互の知見の交換や、活動意欲の向上、活動成果の普及が図られます。本年度は、下記のとおり開催しますので、ぜひご参加ください。

記

1　日時：令和６年６月 15 日（土）午後２時から午後４時まで

2　場所：愛知県水産会館　５階　大会議室
　　名古屋市中区丸の内　３－４－31

3　主催：愛知県、愛知県漁業協同組合連合会

4　後援：東日本信用漁業協同組合連合会愛知支店、公益財団法人　愛知県水産業振興基金

5　報告内容（予定）：
- 片名地区におけるアサリ増殖試験（片名漁業協同組合青年部）
- 西尾市で実施した料理教室について（西三河地区漁業士協議会）
- 令和５年度漁業経営者国内外研修視察報告（東三河漁協青年部連絡協議会）

6　体験発表・話題提供（予定）：
- プレミアムラスサーモンを使った魚醤について（三谷水産高校水産食品課３年）

https://www.pref.aichi.jp/site/suisanshiken/

愛知県

本　　場	蒲郡市三谷町若宮 97	0533-68-5196
漁業生産研究所	知多郡南知多町大字豊浜字豊浦 2-1	0569-65-0611
内水面漁業研究所	西尾市一色町細川大岡一の割 56-6	0563-72-7643
三河一宮指導所	豊川市豊津町柳不呂 95	0533-93-1433
弥富指導所	弥富市前ヶ須町野方 801-2	0567-65-2488